石屋工務店 かわら版

第144号

H28年6月15日発行

石屋工務店

TEL 075 492-1483（シックニ イシヤサン）

京都市北区大宮薬師山東町 47－5　建設業／京都府知事(般-25)第 31625 号　インテリアコーディネーター登録店

料亭 石屋の多趣味人生 その120

平戸・津吉茶市

先々週思い立ち、故郷へ帰って来ました。目的は「津吉茶市」を見る事でした。

私が津吉にいたのは小学二年から中学二年までの七年間でした。時代はオイルショック前後でしたが、一気に豊かになるのが実感できる時期でした。テレビが家に来て、そしてそれがカラーになっていく。冷蔵庫が入り、洗濯機や掃除機も我が家に増えてきました。そんな頃一年で一番の楽しみが茶市でした。そうです。市が立つのです。当時はあまり意味はわからないでいたのですが、新茶が出てそれを売買する市が立ったのが起こりだと思います。私がいた頃はそれ以上に都会のにおいをかげる唯一の場だったんです。四十年近く茶市とはご無沙汰で、機会を見つけて一度は行きたいと思っていました。特に楽しみは「たこ焼き」だったんです。一年に一回この時だけ「たこ焼き」が食べられたのです。当時の私にはそれは都会の味であり夢の味だったのです。まんまるい上に削り節と青のりがかかり、甘ったるいソースがかかる。待ちに待った一年ぶりの味でした。市が立つ三ヶ日間毎日買いに行って食べていました。京都には中学三年の時に引っ越してきました。都会は見る物聞くものが刺激的でワクワクしたのですが、一番は近所のスーパーの前で毎日「たこ焼き」を売っている事でした。初めて「たこ焼き」を買って帰り。思いっきり食べだすと、中に何か堅い物が入っています。あれと思い出してみるとそれは「蛸」でした。ビックリしました。そして理解したのです。「たこ焼き」には「蛸」が入っているんだと。そうなんです。田舎で食べていた「たこ焼き」には「蛸」は入っていなかったんです。蛸の頭みたいな形をしているから「たこ焼き」だと思っていたんです。

そんな思い出の有る津吉の茶市。子供の数が減って少し寂しくなっていましたが、行って良かったです。「たこ焼き」はさすがに食べませんでしたが。

石屋　紀次

輸入壁紙をアレンジ

早いもので、今年も半分過ぎようとしています。以前の瓦版で輸入壁紙専門店のWALPAに行った事を書いたのですが、その時、輸入壁紙と、その壁紙をアレンジするべく白木の額を買って帰ったまま、三ヶ月が過ぎてしまいました。このままはいけないと、気持ちを奮い立たせ、ゴールデンウィークにやっと額の塗装と、絵の部分に買ってきたクロスを貼りました。二枚の額を作成したのですが、乾かす時間を含めるとほぼ一日かかってしまいました。塗料は、古い感じを出したかったので、ミルクペイントのホワイトを下地に塗り、その上にクラック塗料と言うひび割れを作るための塗料を塗り、さらにベージュの塗料を重ねて、最後に黒の塗料でところどころを汚して仕上げました。思い描いていたような、大きなひび割れはうまく作る事はできなかったのですが、とにかく作った～と言う達成感は得る事ができました。ただ、今回使用した壁紙は少しで、購入した壁紙の半分も使っていない為、まだ他に三種類も残っています。次は何にアレンジしようかと考えて、頭を悩ませています。

山本　夕起子

独り者の食事事情

最近はまっている食べ物があります。それは葱丼です。作り方は葱を適当に切って、焼いてご飯に載せます。味付けはクレイジーソルトと胡椒です。ちょっと濃い目にするとご飯に合います。油はオリーブオイルを使います。ご飯をのせた後、追いオリーブオイルをするとオリーブオイルの新鮮な風味が蘇ります。葱はいろいろ試してみて、白葱より細くて値段の高い葱がよいことがわかりました。葱汁がよく出るものが最適で、最近では九条葱をよく使っています。ご飯はもちろんコシヒカリを使います。また、最近はまっている飲み物で男梅サワーというお酒があります。最近では濃い目ワーが販売されるようになりました。男梅サワーは基本的に何でも合いますが特に魚料理に合うそうです。梅の酸味が魚に合うのでしょう。呑み方は冷えたグラスを用意して、グラスの縁に塩を載せます。そして、氷をたくさん入れて、サワーを注ぎます。塩味が増してグラスがすすみます。塩分過多で腎臓に悪そうで、とても贅沢な呑み方です。

古野　充宏

大会観戦

先日、娘の器械体操の大会観戦に行ってきました。この春に中学校に入学し、京都市中学校体操競技連盟の春季大会デビューです。小学校二年生からご縁があって強化クラスに入り、夜九時過ぎまで練習の日々。クラブは勿論入れず、いわゆる『帰宅部』です。怪我をして手術をした事もありますが、「やめる。」とは言いません。今は下の妹達も後に続き、日々頑張っています。大会会場では独特の緊張感があり、競技中は見ている方も緊張します。練習で上手くいっても、競技の一瞬で結果が出てしまい、やり直しが効きません。緊張する娘に、「結果は気にせず、楽しんできたらいいよ。」と声をかけて送り出しました。一種目くらい入賞できたらと願っていましたが、結果は思っても見なかった個人総合優勝！全種目入賞でき、新聞にも掲載され、努力が実った嬉しい出来事でした。

岩松　美紀

蕎麦と大黒さまのあしあと

急に思い立って、武生のおろし蕎麦を食べに行きました。このお店には年に一、二度来ていて、既に二十年からになります。武生署で美味しいお蕎麦屋さんと聞いて見つけたお店でした。ここの大根おろしは口が痺れるくらいに辛いのですが、蕎麦と相性がとても良いのです。食事のあと越前海岸に行き、釣りに良いポイントを探しながら戻って来ました。越前岬の先には荒波や風に削られて出来た天然トンネルで有名な「呼鳥門」（こちょうもん）があります。そのまだ少し北側に「大黒様のあしあと」と言うのがあるのですが、これまたどれか分からない。大黒様に敬意を表している私としては是非確認したいと思ったのですが、どう考えても納得がいかない。まぁきっとこの石のタイプが違うこの両足を揃えて置いた風な筋が入っている石ではないかと、自分なりに納得した、微妙な？発見の一つでした。

石坂　晴夫